

2023年1月13日



福島のために
お客さまのために
そして未来を育むために

プレスリリース



「グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・ フレームワーク」の策定と SBI 新生銀行より「サステナビリティローン」による資金調達について

福島銀行（取締役社長 ^{かとう たかひろ}加藤 容啓）は、2022年12月30日付で、株式会社 SBI 新生銀行（代表取締役社長 ^{かつや}川島 克哉）より「サステナビリティローン」を調達しましたので、お知らせします。「サステナビリティローン」とは、資金用途を環境および社会課題の解決に貢献する事業に限定したローンであり、本件は当行初となるサステナブルファイナンスによる資金調達です。この調達に先立ちまして、当行としての「グリーン/ソーシャル/サステナビリティファイナンス・フレームワーク」（以下「本フレームワーク」）を策定しています。

1. 背景

福島銀行は、2022年11月27日に創業100周年を迎えました。今後は「ネクスト100周年」の取り組みとして持続可能な社会の実現に向けての施策に、より一層力を入れてまいります。

当行は、経営理念において「福島のために、お客さまのために、そして未来を育むために」と掲げております。この経営理念のもと、中期経営計画において ESG・SDGs に資する活動を実施し、よりよい環境と暮らしやすい社会づくりに貢献することを中長期的な経営戦略として定め、2021年4月には「ふくぎん SDGs 宣言」を制定し、社会の課題、経済の課題、自然環境の課題などについて積極的に取り組み、事業活動を通して、地域経済・地域社会の持続的な発展に貢献していくことを宣言しています。

この ESG・SDGs への更なる取り組み強化の観点から、本フレームワークを策定いたしました。なお、本フレームワークの策定にあたっては、その一部を SBI 新生銀行よりサポートを受けています。

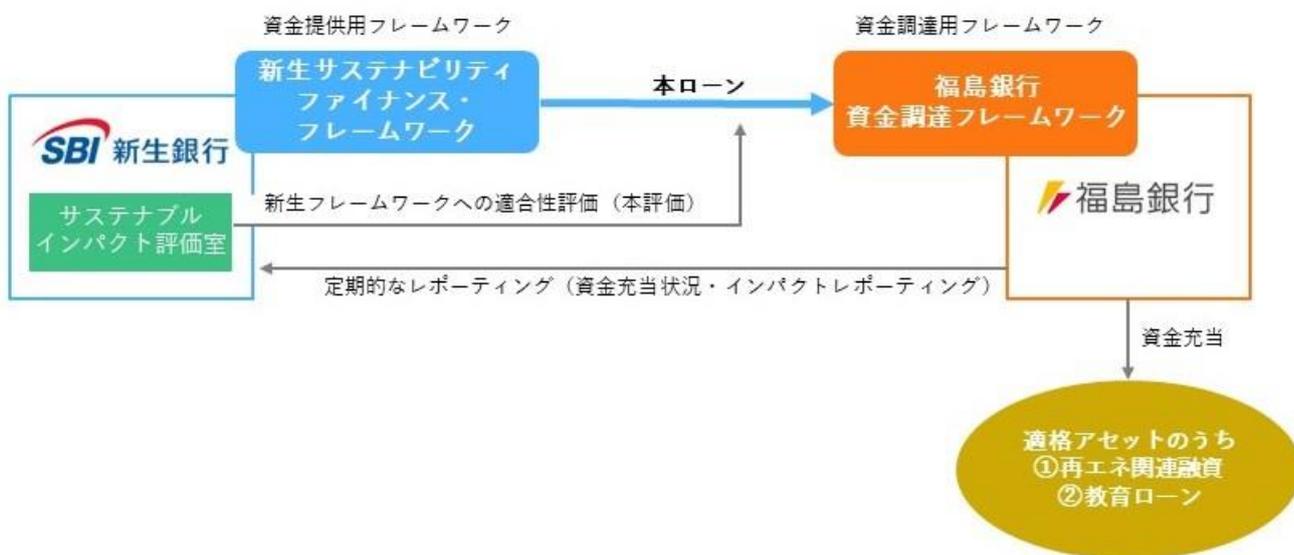
2. スキーム概要

本フレームワークに基づいて「サステナビリティローン」として調達した資金は、当行を通じて、再生可能エネルギー向け融資、雇用創出・維持に寄与する融資、教育関連融資に充当いたしました。このたび SBI 新生銀行からの「サステナビリティローン」につきましても、SBI 新生銀行サステナブルインパクト推進部サステナブルインパクト評価室（独立した内室）より評価を受けています。

当行は、本フレームワークに基づく資金調達と調達資金による融資を通じて、持続可能な環境・社会の実現に資するプロジェクトをサポートするとともに、今後も、ESG・SDGs に貢献していきます。

本フレームワーク策定を皮切りに、当行は、より一層サステナビリティ経営の強化・高度化を図ってまいります。当行は、これからも経営理念である『福島のために』『お客さまのために』『そして未来を育むために』を着実に実践し、地域創生に貢献いたします。

4. スキーム図



以上